

学校・教育・地域を考える 5 つのアプローチ

Zone A 学校/インクルーシブ (対面・オンラインのハイブリッド開催)

21 世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う

— 多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校・園の在り方を探る —

Zone A は、これまで「21 世紀の学びを実践する教師の学習コミュニティを培う」というテーマを掲げて、学校や園が持続・発展していくための授業改革・教師協働の在り方について考えてきました。加えて、多様な背景や困り感をもつ子どもを含めたすべての子どもが、あるがままの存在として生き、育つことのできる教育の在り方についても議論を積み重ねてきました。子どもがありのままの自分でいられるように、教室や学校では、どのように取り組んでいくとよいのか、また教師が子どものよさに気づき、認め、丁寧に引き出していくためにどう取り組んできたか、などを共有してきました。子ども間、子どもと教師間、教師間の学習コミュニティの学びを深めていくためには、対話や協働の在り方を、もう一度見つめ直すことが重要であることが見えてきました。これらの視点は、教育・保育を考える上で極めて重要です。

前回 2023 Spring Sessions では、子どもが個性や能力を発揮し、学び合い育ち合う学校を実現するために、一人ひとりの子どもに寄り添っていくことについて、見つめなおしました。また、学校の当たり前を問い直し、教職員が協働していく組織をいかに構築していくのかについて考えました。そして、参加者の皆様とともに、子どもと子ども、子どもと教師、教師と教師の対話や協働の質をいかに高めていくのかを検討してきました。

そこで、実践研究福井ラウンドテーブル 2023 Summer Sessions では、「個別最適な学び」といわれるように、子どもたちが自分のよさを最大限に発揮し、それを認め合う学校を実現するためにはどうすればよいのか。「個」を生かすにはそこに「協働の学び」がどう関わってくるのか。それらを生み出すためには、どのように組織を捉え直していくのか。そこでのリアルや苦労なども含めて、参加者のみなさまと共に協働探究したいと思います。

Connection	14:00-14:30	オンライン接続
Orientation	14:30-14:40	オリエンテーション
対面会場 教育系 1 号館 2 階大 1 講義室		
Session I	14:40-16:00	
Symposiums	「多様な子どもたちの学びと育ちを支える学校づくり」	

<シンポジウム>

14:40-15:10 福井市清明小学校
15:10-15:40 岐阜市立草潤中学校

<シンポジスト>

校長 坪川 修一郎
教諭 中今 純一

探究的な学習プロセスの中で、相互作用を通して子どもたちが学び合っていくストーリー、それを支える先生たちの組織・コミュニティについて話題提供を踏まえて考えていきます。

全体討議 15:40-16:00

<コーディネーター> 福井大学連合教職大学院 小林 真由美

<休憩> 16:00-16:20

Session II 16:20-17:40 Breakout Room 対面会場は当日ご案内します

Cross-session **Session I** の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。